



機械科生徒が乗船体験

機械科生徒が今までに身につけた船舶に関する知識（機械工作法、船体構造、関連法規、メンテナンス、海事産業）のまとめとして、実際の船舶に乗船して高度な技術的視点から課題を解決する力を身につけるために取り組んだ。



【ジェットfoilすいせい客室】



【ときわ丸船橋】



【ときわ丸機関室】



【ときわ丸機関制御室】



【おけさ丸船橋】



【おけさ丸船橋】

【スキルアップシートより（生徒の感想・新たな発見）】

- ・ただ乗るだけでなく、船がどのようにエンジンやボイラーが動いているところを見れたのがよい体験になった。
- ・機関室ではエンジンとプロペラ以外にもそれらを補う機会が多くあることを理解した。
- ・船の中には生活に必要なものがすべてあることに驚いた。
- ・現物を見て体験しながらのほうが色々な質問ができて、今回の体験乗船はかなり良かった。
- ・カーフェリーは速度はジェットfoilより遅いけど乗り心地は良かった。
- ・エンジン室の音がものすごく大きい。また、エンジンそのものがものすごく熱を帯びているのが分かった。
- ・船の中に揺れを抑えるためのタンクがあることがわかった。
- ・工具一つ一つまで管理されていた。
- ・船上で働いてみたいと思った。
- ・燃料のC重油の加熱など知らない工夫があった。
- ・船全体におよそ1000個ものセンサーがあり船員さんがすべての箇所を覚えているということに驚いた。
- ・17000馬力で動かしていることに驚いた。
- ・船員さんは2週間も船に乗っているのは驚きです。
- ・新潟から両津までで3000ℓも燃料を消費することを知った。
- ・船内の交流電源の周波数は60Hzに統一されている。



【生徒の変容と身についた力（職員の感想）】

- ・機械の大小にかかわらず、仕組みや音などに興味を持てるようになった。
- ・見学時に機械のどこが危険かを予知できるようになった。
- ・しっかりした集団行動がどこでもできるようになった。
- ・疑問を持ったら聞いてみる。聞いて課題解決しようという姿勢がみえた。

